

札幌の冬の魅力、
子どもたちに届けましょう!

雪学習 NEWS

札幌市内
小学校
教諭向け

Since 2016

雪学習NEWSでは、札幌市の小学校教諭を対象に、札幌の冬についての話題や知識などの情報を、冬のシーズンを中心に、定期的にお届けします。

No.35

社会

アイヌの人たちと冬

今回は、ウボボイ(民族共生象徴空間)に伺って、アイヌの人たちの冬の暮らしについて取材してきました!

今年も残すところ残り1ヶ月。暖房をつけて、暖かい部屋でこたつに入って蜜柑を食べながらテレビを観る。そんなお正月も近づいてきましたね。今回は、アイヌの人たちの冬の暮らしについてご紹介したいと思います。今から100年以上も昔、当時はストーブやエアコン、こたつなんてありません。アイヌの人々はどのように寒さをしのぎ、冬の生活をおくっていたのでしょうか。4年生のアイヌ文化の学習や5年生の寒い土地の暮らしの学習の小ネタとしてご活用ください。



国立アイヌ民族博物館
研究学芸部 展示企画室長
田村将人 氏

冬、雪とくらすアイヌの人たち

❁ 冬の生活の中心は「狩猟」～雪がプラスに働く!～

「アイヌの人たちの冬の生活の中心は狩猟でした」と田村将人さんは話してくれました。雪が降り積もる冬、アイヌの男性は、矢やこん棒で鹿を仕留めます。狩りをする際、雪はプラスに働きました。時には足の速い鹿の自由を奪ってくれる味方になるだけでなく、獲物の足跡を記録し、その行動を報告してくれるのも雪でした。アイヌの人たちにとって雪は邪魔者ではなかったのです。

(アイヌの人がかかった)
冬に狩猟に出かける時の服装



❁ チセの中は冬でも暖かい!?!～囲炉裏を囲んで温かく～

アイヌ民族の家(チセ)の材質については、地方によって差があります。広い北海道では、全ての地域で同じ材料が手に入るわけではないからです。ところが囲炉裏をはじめとする内部構造は、全道的に類似しているのです。アイヌの人たちは、夏に集めた薪を使い、冬の間は土間の真ん中にある囲炉裏の火を絶えず燃やし続けていました。土間に直接切った囲炉裏があることで、土間に蓄熱され、下から暖められます。現在で言う床暖房のような効果があったのではないのでしょうか。また、干し草をチセの床にたくさん敷くだけでなく、その上にガマで編んだゴザも敷いていました。アイヌ民族の住居も時代が経つと和人の影響を受けて、板張りの床になりますが、それよりも昔ながらの土間作りの住居の方がはるかに暖かかったと話す声もあるそうです。



チセ
※復元図



チセ内部
※復元図

❁ 氷は「こおるもの」ではなく、「とけるもの」!?



鮭のルイベ

(ルイベ: 解ける食べ物の意味)

※鮭の中でも、初冬に遅れて遡上する鮭をとって、屋外に干し、自然に冷凍・解凍を繰り返したものがルイベと言われます。

アイヌ語で氷は「コンル」といいます。これは、日常的に使う言語であり、古い物語の中では、「ルプ」といいました。この「ルプ」の語源は「解けるもの」です。氷が解けるもの? 不思議ですね。そもそも、暖かい地域に住む人にとっては、氷が普通の状態であり、氷とはそれが一時的に変化したものというイメージではないのでしょうか。しかし、北方で1年の大部分を雪や氷に閉ざされて生活していたアイヌ民族にとっては、氷こそが平常の状態であったのです。アイヌ民族にとって「氷」とは、「水のコおったもの」ではなく、「解けて水になるもの」だったので、ここにもアイヌの人たちの素敵な自然の捉え方をみることができますね。



アイヌ語の「雪」に関する言葉 出典:「アイヌ語千歳方言辞典」中川 裕 著

雪が降る:ウパシ アシ

粉雪:イルプ ウパシ

わた雪:ホニ ルプネ ウパシ



なるほど!札幌の冬

～朝の会で使える小ネタ～
実物投影機で大きく映そう!!



札幌の冬について学べるおすすめサイトをご紹介します! 〇〇のコツおしえます。

ケガ防止!

転ばないコツおしえます。

冬みちでの歩行者の転倒事故を防止することを目的として、地域の人々や観光客に転倒防止につながる情報提供を行っているサイトです。「転んでケガをしないコツ」や「冬みち転倒事故の実態」など、「冬みち」に関する情報がたくさん掲載されています。



HPはこちら



事故防止!

除雪のコツおしえます。

「どんな時に除雪の事故が起きやすいか?」「安全で効率的な雪かきのコツとは?」など、わたしたちの生活の一部とも言える「除雪」について詳しく学べるサイトです。「雪かきのコツ」や「雪下ろしのコツ」が動画で紹介されているページもあります。



HPはこちら



※各サイトはウインターライフ推進協議会が運営しています。

Q&A

Q.幅の広い道路(幹線道路)はどうやって除雪するの?

A. 幹線道路の除雪は、除雪グレーダや除雪トラックとタイヤショベルを組み合わせ、編成を組んで作業を行っています。(雁行除雪や梯団除雪と呼ばれています)

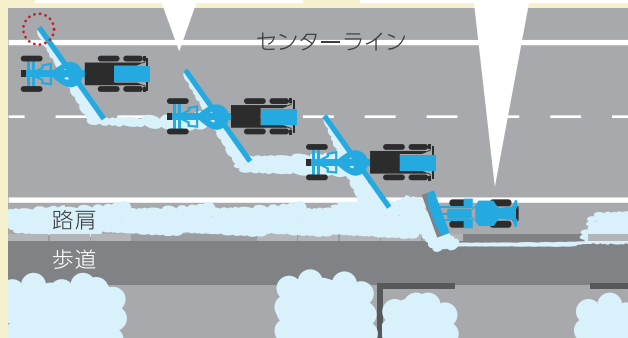
【例:4車線の場合】

- 除雪グレーダ3台とタイヤショベル2台で作業を行います。
- 1台目の除雪グレーダがセンターラインより30cmほど対向車線側にブレードをはみだ出して作業を行い、雪を左側(歩道側)に寄せます。
- 2台目の除雪グレーダは、1台目が寄せた雪をタイヤで跨ぐようにして走行し、雪を更に左側に寄せます。
- 3台目の除雪グレーダは、2台目が寄せた雪をタイヤで跨ぐようにして走行し、雪を更に左側に寄せます。
- タイヤショベル2台は、3台目の除雪グレーダが寄せた雪で、駐車場の出入口などの間口に残された雪を前方の雪堤へ寄せる間口処理の緩和を行います。

除雪グレーダ



タイヤショベル



授業をサポートする資料は、ここ!



このニュースレターや冬や雪に関する指導案等は札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。

【ホームページ】<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

校務・教育系システムのポータルサイトからも閲覧可能!

【発行・お問合せ】札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX: 011-218-5141

雪に関する写真や動画等、いろいろあります!

札幌雪学習

検索

雪学習HPはこちら

